

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2000-325113
起案日	平成14年12月11日
特許庁審査官	新海 岳 8111 3S00
特許出願人代理人	京本 直樹 (外 2名) 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の請求項1～5, 7～14に係る発明は、各々、その出願前日本国内において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

- (イ) 実願平2-80799号 (実開平4-38091号) のマイクロフィルム
- (ロ) 実願平4-65440号 (実開平6-23272号) のCD-ROM
- (ハ) 登録実用新案第3021144号公報
- (ニ) 特開2000-68658号公報
- (ホ) 特開平4-219996号公報
- (ヘ) 実願昭54-33878号 (実開昭55-135493号) のマイクロフィルム
- (ト) 特開平7-74485号公報

上記刊行物 (イ) ～ (ニ) 記載のものも、絶縁材からなる保護カバーの2つの掛止部を回路基板の端部又はその近傍の電子装置に掛止してなるものである。
(掛止のための構造としてフック部を用いることもこれらに示唆されているといえる。)

また、電子装置と回路基板の間に絶縁板を設けることは、上記刊行物 (ホ) ～ (ト) 記載のものにみられるように、当業者に良く知られた技術的事項である。

また、上記刊行物（ハ）、（ニ）、（ヘ）、（ト）記載のものも、本願請求項5、7、8に記載されると同様に間隙を形成していると解せる。

2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項1の記載事項は、発明の詳細な説明の実施例と称して説明されているもののとの関係が明瞭でない。（とくに、「第1（2）のフック部」と「第1（2）の掛止部」とは、「実施例」では何がそれらに相当するのかが明らかでない。）

3. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

3-1. 請求項3の記載は、それが意味せんとする技術的内容を明瞭に特定することができない。（請求項1、2の記載事項を併せた結果として、どのような構成となっているのかが明瞭に把握できない。）

3-2. 請求項15の記載は、それが意味せんとする技術的内容を明瞭に特定することができない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。

発送番号 420707

発送日 平成14年12月17日 3 / 3

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 H05K 7/14

・先行技術文献

特開平7-209630号公報

実開平6-2765号公報

実開平5-29197号公報

実開昭59-128797号公報

特開昭58-48499号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。